

大阪府北部地震を踏まえた 学校等における塀の安全点検 結果について

平成30年7月5日
茨城県

1 塀の安全点検調査の概要

(1) 点検調査対象

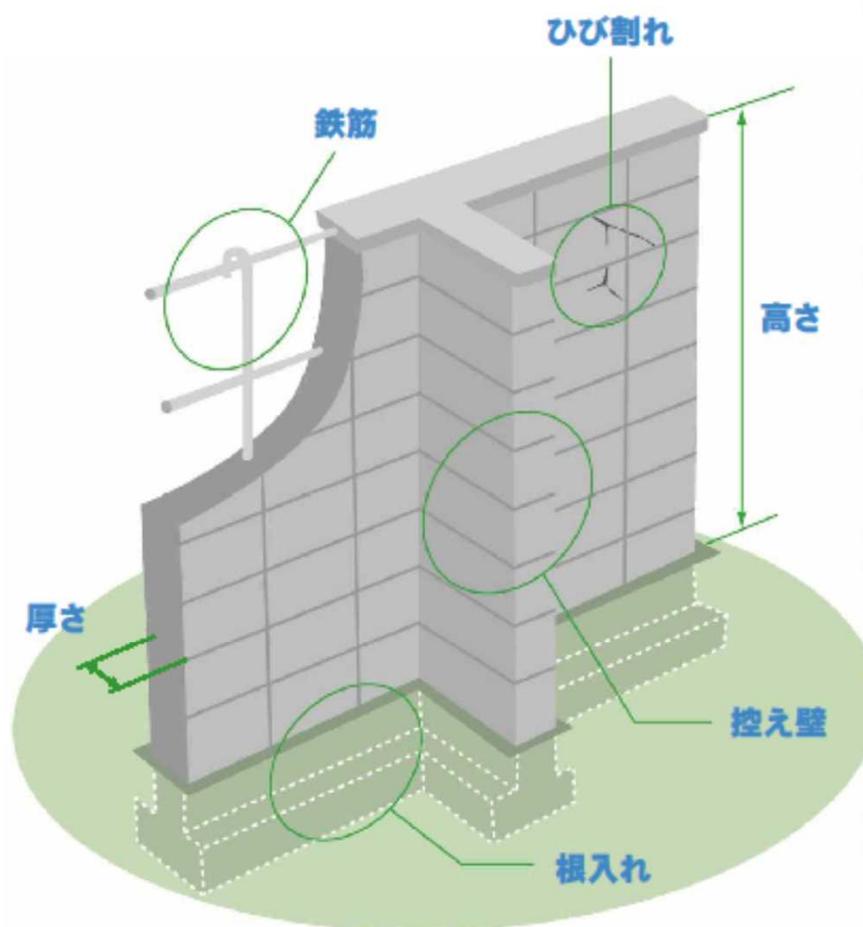
- ・学校及び県が所有する施設に設置している組積造の塀又は補強コンクリートブロックの塀

(2) 点検方法

- ・国土交通省通知のチェックポイントに基づき、次の項目を点検

<点検項目>

- ①塀の高さ
- ②塀の厚さ
- ③控え壁の有無
- ④基礎の有無
- ⑤塀の健全さ



ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。

まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

- 1. 塀は高すぎないか
 - ・塀の高さは地盤から2.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か
 - ・塀の厚さは10cm以上か。(塀の高さが2m超2.2m以下の場合には15cm以上)
- 3. 控え壁はあるか。(塀の高さが1.2m超の場合)
 - ・塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか
 - ・コンクリートの基礎があるか。
- 5. 塀は健全か
 - ・塀に傾き、ひび割れはないか。

組積造(れんが造、石造、鉄筋のないブロック造)の塀の場合

- 1. 塀の高さは地盤から1.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か。
- 3. 塀の長さ4m以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか。
- 5. 塀に傾き、ひび割れはないか。

<専門家に相談しましょう>

- 6. 基礎の根入れ深さは20cm以上か。

<専門家に相談しましょう>

- 6. 塀に鉄筋が入っているか
 - ・塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも 80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
 - ・基礎の根入れ深さは30cm以上か。(塀の高さが1.2m超の場合)

2 塀の安全点検調査の結果

施設区分	対象施設数 (A)	チェックポイントに 不適合な施設数 (B)	B/A	チェックポイントに 不適合な箇所数
県立学校	120	66	55%	126
県有施設	118	36	31%	46
計	238	102	43%	172
(参考)市町村立学校	840	163	19%	229

3 今後の対応

- 付近通行者などに注意喚起をするよう改めて管理者に通知
- 対象の塀がある県立学校及び県有施設について、専門業者の協力を得ながら、建築系技術職員によるブロック内部の点検を実施し、対策が必要な場合には、既定予算や補正予算等で対応し、速やかに撤去・改修等を目指す
 - 内部点検：7月27日まで（鉄筋の位置確認のみ）
 - 撤去・改修等：12月末までを目途
- 市町村立学校や私立学校についても、速やかな対応を要請